



留学生教育、特に外国人留学生に対する数学教育の研究を行っています。最近は、ミャンマーからの留学生に対する数学の指導方法の研究に力をいれています。

略歷

2016年 早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。独立行政法人日本学生支援機構東京日本語教育センター非常勤講師や東京電機大学学習サポートセンター非常勤教員、早稲田大学教育学部助手を経て、2017年日本工業大学共通教育学群に講師として着任。

研究紹介

外国人留学生に対する数学教育の研究

日本には数多くの外国人留学生があり、その数は20万人を超えます。私は、日本の大学への進学を希望する外国人留学生に対する数学教育について興味をもち、彼らに対してどのような教育や学習サポートができるかを研究しています。

ここ数年は、ミャンマーにおける数学教育について研究しています。具体的には、ミャンマーで使用されている数学の高校教科書の学習内容を調査し、日本の教科書と比較することで、日本の数学教育との違いを明らかにしました。これは「日本とミャンマーの学習項目対応表(数学)」としてまとめ、日本学生支援機構 東京日本語教育センターのHP上で公開しています。

現在は、ミャンマーからの留学生の意見を取り入れながら、留学生に対する効率の良い数学の指導方法の確立、留学生向け教材の作成を目指し、研究を進めています。

「日本とミャンマーの学習項目対応表(数学)」の一部

主な発表論文、発表物

- 1) 高岡邦行 田辺直行, 国定高校教科書から考察するミャンマーの数学教育, 独立行政法人日本学生支援機構 日本語教育センター紀要13(2017), 27-40.
 - 2) 日本とミャンマーの学習項目対応表(数学), 2019.